

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		年頭挨拶で社長メッセージを配布し、今年の業界の動向や弊社の取組みと経営目標を定め、経営理念に基づく取組みを従業員と共有し、個々の今年の抱負を発表し、全員でベクトルを合わせて実践している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令順守に基づく社内コンプライアンスを徹底するために、毎年1月と6月に教育の実施をしている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		仕入れ業者や協力会社など、不正な圧力や不当な価格で取引をしないように従業員に周知している。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		産業廃棄物やリサイクル品等を、各現場で適正に処理がなされているか各現場の職長がチェックし、大手ゼネコンの環境委員会に所属している社長が、毎月1月と6月に環境パトロールと環境教育を実施している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産に関しては、代表者が管理をし、取り扱いに十分配慮し、保護をしている。							8.2 8.3	9										16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報はパスワードをかけ、担当者のみで厳重に管理している。 各現場でのKYミーティングの際、従業員や協力会社の健康診断や持病等を確認しながら毎日の健康状態のチェックをし、チェックリストを各現場の職長が毎日ファイルに綴り、ゼネコンの保管スペースに保管・管理している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		年一回大手ゼネコンとの各地区の分科会や意見交換会で、各業種の現状や問題点などのフリートークがあり、協力会社とのコミュニケーションを密にしている。関連会社にも議事録をメールで送り、共有している。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		年1回事業主教育(各種ハラスメント・贈収賄等のコンプライアンス教育含む)を受け、社内でも各種ハラスメント教育やコンプライアンス研修を実施しており、取引先等と意思統一を常に行っている。					5		8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		弊社は事業継続力強化計画の認定企業で、災害や事故への対策を策定し、その内容をタイムリーに従業員に周知していく、災害時の初動対応としては、大手ゼネコンの安否確認システムにより、定期的に災害時の安否確認の模擬訓練をゼネコン主導で行っている。							9	11		13.1						16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		後継者の指導と育成に取組み、必要な教育や研修を受講している。						8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5		8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		年一回の大手ゼネコンの事業主教育(各種ハラスメント・コンプライアンス教育含む)を受け、それに準じて事業主が従業員に差別や各種ハラスメントに関する教育を行っている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		月一回の各現場毎の災害防止協議会での安全衛生管理指示事項や事故事例等を取り上げて毎月月初めの安全会議で周知している。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		年一回の定期昇給では労働条件を確認しながら、経営力向上を踏まえた賃金水準を引き上げていく計画を実施している。				5.5		8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		働き方改革の取組みを強化し、柔軟な勤務体制で業務効率を目指す為、元請ゼネコンと協議し、適正かつ平準化できる工程を提案し、社員の残業と休日のバランス(4週8閉所)が取れるように元請とともに取り組んでいる。		3		5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		一級、二級建築板金技能士をはじめ、基幹技能者や建設マスターをも擁していて、定期的な各種講習会への積極的な参加を通して、技能者を育成している。			4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年一回の定期健康診断はもとより、再検査等へのサポートを確実に行い、従業員の健康維持に取り組んでいる。		3				8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性及び外国人労働者の雇用促進や定年後の再雇用を実施している。			4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		現場でもリモート打合せを行っている。		3				8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4			8	9		12								

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 花谷工業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		現場や自社工場での産業廃棄物の確実な分別と管理及び環境事故防止教育(年1回)を行い、環境パトロールを年2回実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		エネルギー使用量の把握を毎年12月に行っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		ソーラーパネルを設置したことによる、温室効果ガス排出量を毎年12月に算出している。	2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所において、廃プラやレジ袋の削減及びエコパック使用を従業員と共に取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		使用材料のほとんどをリユース・リサイクルしており、リデュースに関しても材料ロスを少なくするため板取りを施工図段階で考慮して現場と施工図担当者が打合せを密にしている。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		現場のトラックは週末にまとめて洗車し、時間短縮で節水を行い、汚水も現場では排水用のノッチャタンクが設置された場所での工具清掃等を励行し、発電機等の機械の下にはオイルパンを敷き油漏出防止に取り組んでいる。	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		弊社はRE100の賛同団体に加盟していて、ソーラーパネルの架台のいらない金具の特許を取得(2010年4月)し、製品化している。						9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4					12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		ソーラー発電で自家消費率100%を達成している。 ソーラーパネル付屋根及び充電スタンドも配備した車庫のシステム事業の計画に取り組んでいる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6		9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		車庫に200V変換のソーラーパネルを設置し、200Vの充電スタンドを配備し、急速充電でのPHV社用車の使用(2018年～)を実施している。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		昨今のゲリラ豪雨や脅威化する台風等に備え、想定外の豪雨や台風にも対応する屋根システムの提案のため設計事務所やゼネコンに耐風圧計算書や雨量計算書と熱還流率を算出し、ご提案できる仕組みを構築している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		弊社事務所の裏口にスロープを設置している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		お客様にあつた、ソーラーパネル併用の屋根システムを提案し、自家消費型及び災害時でも電気を補えるように蓄電池の設置提案をしてCO2削減や災害時にも電気を供給出来るシステムを提案している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		事業継続力強化計画に基づき従業員の避難方法や家族を含めた安否確認をゼネコンの安否確認システムによる情報共有と定期的な模擬訓練を実施していく、災害の寄付活動やボランティア活動にも積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業継続強化計画の認定事業所として、事前防災対策と災害時の安否確認システムを元請ゼネコンと共有し、避難行動計画に基づき、社屋2Fを従業員の避難所と定めている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		元請協力会(九州)環境委員会の副委員長を代表が務め、環境バトロールの強化とゴーヤdeエコ(グリーンカーテン)を推奨する活動や社内でのSDGsの普及の啓蒙活動と具体的な活動の周知を定期的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		2022年8月、インターンシップ開催(15名)。施工中であった、重要文化財阿蘇神社社殿保存工事の職場体験(視察研修)を行った。				4				8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		地元の学校と連携し、求人票を学校に掲示してもらい、就職勧誘を行っている。				4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。